

CA Clarity™ PPM

リリース ノート - オンプレミス

リリース 14.2.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内ユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2015 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: CA Clarity PPM 14.2 リリース ノート	7
トレーニング	7
各国語のサポート	7
公開済みの修正	8
既知の問題および解決された問題	8
解決された問題	9
Java Runtime Environment の問題	9
サポートされているアップグレード パス	9
アドインの互換性	9
CA Clarity PPM ソリューション パック	11
CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 Service Pack 2	11
 第 2 章: 新規機能	 13
拡張レポートおよびデータ ウェアハウス	13
Microsoft Project のフィールドマッピング管理	15
 第 3 章: 拡張された機能	 17
プラグイン ID の変更	17
ドキュメント	17
Microsoft Project 機能拡張	19
ポートフォリオ拡張機能	20
リソース平均配置率	21
非プロジェクト投資オブジェクト (NPIO) の更新	22
 付録 A: 互換性	 25
CA Clarity PPM サーバ	26
統合サーバ	30
クライアント	30
Clarity Mobile Time Manager	33
CA Clarity PPM に含まれる製品	34
変更履歴	34
CA Clarity PPM リリース 14.2.00 での変更点	34
CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点	35

CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点.....	36
CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点.....	38
CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点.....	40
CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点.....	42
CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点.....	43
FIPS オペレーティング モード制限	44
IPv6 ネットワーク 互換性制限	45
CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7)	
サポートされている設定.....	48
Jaspersoft 5.6.1 でサポートされる設定.....	51

付録 B: アクセシビリティ機能 53

マウス.....	54
キーボード.....	54
音声	55
ユーザのアクセシビリティの設定.....	56
キーボード ショートカット.....	57
表示	60

付録 C: サードパーティ ソフトウェアに関する通知 61

第 1 章: CA Clarity PPM 14.2 リリース ノート

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[トレーニング](#) (P. 7)

[各国語のサポート](#) (P. 7)

[公開済みの修正](#) (P. 8)

[既知の問題および解決された問題](#) (P. 8)

[サポートされているアップグレードパス](#) (P. 9)

[アドインの互換性](#) (P. 9)

[CA Clarity PPM ソリューションパック](#) (P. 11)

[CA Business Intelligence \(CABI\) リリース 3.3 Service Pack 2](#) (P. 11)

[新規機能](#) (P. 13)

[拡張された機能](#) (P. 17)

[互換性](#) (P. 25)

[アクセシビリティ機能](#) (P. 53)

[サードパーティ ソフトウェアに関する通知](#) (P. 61)

トレーニング

CA Education は CA Clarity PPM についての多くのトレーニング ソリューションを提供します。お客様が検討する可能性がある重要な 1 つのコースでは CA Productivity Accelerator (CA PA) について説明します。提供されているトレーニングの詳細については、<http://ca.com/education> の CA Education Web サイトを参照してください。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要なオペレーティング システムおよびサードパーティ製品のローカル言語バージョンで正常に動作する英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品（ローカライズ済み製品とも言います）とは、製品のユーザーインターフェース、オンラインヘルプ、その他のドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

この製品は完全にローカライズされ、日付、時刻、および数値フォーマットに関する 100 以上の地域設定をサポートします。 ユーザインターフェースは、以下の言語で利用できます。

- | | |
|----------------|------------|
| ■ ポルトガル語（ブラジル） | ■ イタリア語 |
| ■ カタロニア語 | ■ 日本語 |
| ■ チェコ語 | ■ ノルウェー語 |
| ■ デンマーク語 | ■ ポーランド語 |
| ■ オランダ語 | ■ ロシア語 |
| ■ 英語 | ■ 中国語（簡体字） |
| ■ フィンランド語 | ■ スペイン語 |
| ■ フランス語 | ■ スウェーデン語 |
| ■ ドイツ語 | ■ 中国語（繁体字） |
| ■ ハンガリー語 | ■ トルコ語 |

CA Clarity PPM オンライン ヘルプとコンテンツのローカライズ バージョンは、製品の一般リリース（General Availability）から 90 日以内に提供されます。

ローカライズされた製品ドキュメントの最新のバージョンは、[CA Support Online](#) の [\[ドキュメント\]](#) ページで入手できます。

公開済みの修正

テクニカル サポートが [CA サポート](#) で提供するソリューションおよびパッチを確認することを推奨します。ユーザはソリューション、パッチ、および製品リリースに必要なすべての前提条件の発行済み修正プログラムを確認できます。

既知の問題および解決された問題

既知の問題はナレッジベース記事として扱われます。既知の問題を検索するには、[CA Clarity PPM Support by Product](#) ページに移動し、[ナレッジベース] タブをクリックして、検索用語として *clarity13open* または *clarity14open* を入力します。

解決された問題

解決された問題については、CA Support Online の[解決された問題のページ](#)を参照してください。

Java Runtime Environment の問題

Java Runtime Environment (JRE) は、CA Clarity PPM のリリース時には不明である問題を含めて、セキュリティに関する問題を解決するために頻繁に更新されます。最新の修正を反映するには、最新の JDK バージョン 7 をダウンロードすることを推奨します。

サポートされているアップグレードパス

サポートされているアップグレードパスの詳細については、「[変更の影響とアップグレードガイド](#)」および「[インストールガイド](#)」を参照してください。

アドインの互換性

以下のセクションでは、インストールされたアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのアップグレードに関する重要な情報について説明します。

- リリース 14.1 のバージョン 13.0 からリリース 14.2 にアップグレードする場合は、以下のアドインがアップグレードされます。

- PMO アクセラレータ
- Clarity ソリューション パック (CSP)

注: CSP アドインは既存のユーザに対してのみサポートされています。新しい CA Clarity PPM インストールではこのアドインをサポートしていません。

- CA Clarity Agile

- バージョン 13.0 より前のいずれかのバージョンからリリース 14.2 にアップグレードする場合は、インストールされているアドインをすべてアップグレードしてください。
- バージョン 13.3 以降では、アドイン、アクセラレータ、およびコネクタについて、新しいインストールプロセスが必要です。

注: 詳細については、「インストールガイド」を参照してください。

以下の表に、リリース 14.2 と互換性のあるアドイン、アクセラレータ、およびコネクタのリリースを示します。

アドイン、アクセラレータ、またはコネクタ	新しいインストール環境 14.2	12.x から 14.2 へのアップグレード	13.x または 14.1 から 14.2 へのアップグレード
PMO アクセラレータ	14.2.0	14.2.0	14.2.0
Clarity ソリューションパック (CSP)	14.2.0	14.2.0	14.2.0
アーンドバリューマネージャ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
PRINCE2 用アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
PMBOK 用アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
新製品開発用アクセラレータ	2.0.3	2.0.3	2.0.3
PPM Essentials アクセラレータ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
BRM アクセラレータ	3.0.2	3.0.2	3.0.2
CA Unicenter Service Desk 12.7 & CA Software Change Manager™ 12.1.0.3 用コネクタ	2.0.1	2.0.1	2.0.1
CA Unicenter Asset Portfolio Management 11.3.4 用コネクタ	2.0.2	2.0.2	2.0.2
Microsoft SharePoint 2013 用コネクタ	3.0.0	3.0.0	3.0.0
サービス接続	2.0.0	2.0.0	2.0.0
Catalyst コネクタ	2.5.0	2.5.0	2.5.0
CA Clarity Agile	14.1.0	14.1.0	14.1.0
VersionOne コネクタ	14.1.0	14.1.0	14.1.0

CA Clarity PPM ソリューション パック

CA Clarity PPM ソリューション パックは、PMO アクセラレータおよび顧客フィードバックで提供されるコンテンツに基づいたアドインです。ソリューション パックは、PMO アクセラレータ アドインと組み合わせて使用される、Xcelsius ダッシュボードおよび SAP Crystal Reports のコレクションです。

CA Clarity PPM ソリューション パック アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM および PMO アクセラレータの互換性のあるバージョンがインストールされていることを確認してください。ソリューション パックをインストールする前に、PMO アクセラレータ アドインの互換性のあるバージョンをインストールしていないと、CA Clarity PPM ソリューション パックのインストールは失敗します。

[CA Support Online のソリューション パックの索引ページ](#)（ログインが必要）で、ソリューション パックのリリース ノート、製品ガイド、概要ガイド、ならびにダッシュボードおよびレポートのソース ファイルを見つけることができます。

注: CA Clarity PPM ソリューション パックは既存のユーザに対してのみサポートされています。

重要: CA Clarity PPM と PMO アクセラレータのアップグレードが必須かどうかを判断するには、CA Clarity PPM ソリューション パック リリース ノートの認定およびサポートされているバージョンのチャートを確認してください。

注: CA Support Online から Xcelsius Designer 2008 Service Pack 6 Fix Pack 3 をダウンロードできます。

CA Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 Service Pack 2

CABI の旧バージョンがある場合は、以下の両方の手順を実行します。すでに CABI Release 3.3 をインストールをしている場合は、Service Pack 2（以下の手順 2）をダウンロードし、インストールするだけです。

以下の手順に従います。

1. 以下の手順を実行して、CABI リリース 3.3 をダウンロードし、インストールします。

注: この手順は旧バージョンの CABI を持っているユーザのアップグレード用です。

- a. [CA Support Online の CA Clarity PPM サポート ページ](#) にログインします。
 - b. [Quick Access] セクションで、[Download Center] をクリックします。
 - c. [Please narrow your search results for "Products" below] セクションで、ライセンスが提供されている製品（例：CA Clarity PPM Core ライセンス）を選択し、適切なリリース番号を選択して [実行] をクリックします。
 - d. 適切な CA Business Intelligence 3.3 ダウンロードの隣の [ダウンロード] リンクをクリックします。
 - e. [Download Method] ページで、ダウンロードリクエストを完了するために適切なダウンロード方法を選択します。
 - f. CABI リリース 3.3 をインストールします。
2. Service Pack 2 をダウンロードして、インストールしている CABI リリース 3.3 にインストールします。

- a. CA FTP サイトから CABI リリース 3.3 Service Pack 2 およびリリースノートをダウンロードします。

Windows の場合。

`ftp://ftp.ca.com/caproducts/CABI/CABI-3.x/boeXIR3_SP7/Windows/`

注: ZIP ファイルと CABI 3.3 SP2 リリース ノートの両方をダウンロードします。

Linux の場合 :

`ftp://ftp.ca.com/caproducts/CABI/CABI-3.x/boeXIR3_SP7/Linux/`

- b. CABI 3.3 SP2 リリース ノートの手順に従って、Service Pack 2 を CABI リリース 3.3 のインスタンスにインストールします。

第 2 章：新規機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[拡張レポートおよびデータ ウェアハウス \(P. 13\)](#)

[Microsoft Project のフィールド マッピング管理 \(P. 15\)](#)

拡張レポートおよびデータ ウェアハウス

[拡張レポート] では、レポートとして保存し、異なる形式で共有できる、CA Clarity PPM データのアドホック ビューを作成できます。追加するデータを選択することで、各アドホック ビューとそれに対応するレポートを設定できます。レポートは、即時実行するか、またはスケジュールを設定できます。いずれの場合でも、出力方法および形式を制御します。

CA Clarity PPM データ ウェアハウスは、[拡張レポート] 用のメイン データ ソースです。データ ウェアハウス スキーマは、特にレポート用に最適化されます。このスキーマには、投資、リソース、ポートフォリオ、タイムシート、およびプロジェクト データが含まれています。データ ウェアハウスには、CA Clarity PPM データベースからデータ ウェアハウスに関連データをロードするジョブにより、スケジュール設定された間隔でデータが読み込まれます。データ ウェアハウスは、カスタム オブジェクトおよび属性を含めるように拡張できます。

注： 独自のレポート作成ツールがある場合、データ ウェアハウスと合わせて使用することができます。

CA Clarity PPM には、最も使用頻度の高いデータを含むドメイン セットが用意されています。アドホック ビューを作成する場合は、利用可能なドメインのリストから選択します。ドメインには、CA Clarity PPM データウェアハウスのビジネス ビューが用意されています。ドメインは、ユーザのセキュリティ権限に基づいてデータへのアクセスを制限します。たとえば、ユーザが CA Clarity PPM 内の特定のプロジェクトおよびリソースへのアクセスを許可されている場合、そのユーザは [拡張レポート] ドメイン内の同じプロジェクトおよびリソースにもアクセスできます。製品にカスタム オブジェクトまたは属性を追加すると、これらのカスタム オブジェクトおよび属性もドメインに追加されます。

注: ドメイン内に含まれるデータを表示するには、PMO アクセラレータ アドインに Jaspersoft コンテンツをインストールする必要があります。詳細については、「*PMO アクセラレータ製品ガイド*」を参照してください。

ドメインのデータを分析できるように、グラフ、テーブル、およびクロス集計タブの各形式でアドホック ビューを作成します。また、アドホック ビューを使用してレポートを生成し、以下の方法で共有、保存、または表示することもできます。

- 単一のスタンドアロン レポート
- Word、PDF、Excel、PowerPoint ドキュメント、またはその他の形式
- 電子メール添付ファイル

注: [拡張レポート] は、Jasper Reports Server (CA Clarity PPM に統合) を使用して、アドホック ビューおよびレポートを管理します。Jasper Reports Server の詳細については、[Jaspersoft Community](#) の Web サイトを参照してください。

[拡張レポート] とデータ ウェアハウスのインストール、設定、使用の詳細については、「*インストールガイド*」、「*管理ガイド*」、「*基本機能ユーザガイド*」を参照してください。

Microsoft Project のフィールド マッピング管理

まだマップされていない既存の **CA Clarity PPM** 属性、および [プロジェクト]、[リソース]、[タスク]、[割り当て]、[チーム] の各オブジェクトで **Microsoft Project** フィールドを持つカスタム属性のみをマップできます。この属性は、以下のデータ タイプのいずれかである必要があります。

- ブール
- Date
- 番号
- ルックアップ文字列
- 文字列

フィールドをマップするには、[管理] を開き、[プロジェクト管理] から、[MSP フィールド マッピング] をクリックします。このページを表示するには管理者権限が必要です。**CA Clarity PPM** から **Microsoft Project** に対して、データのインポートまたはエクスポートのみ、あるいはインポートとエクスポートを行うことができます。

フィールドをマップする場合は、以下のビジネス ルールが適用されます。

- [オブジェクト タイプ] および [Clarity 属性 ID] のマッピングがすでに存在する場合は、[作成] または [更新] の操作によりエラーが発生します。
- [オブジェクト タイプ] および [MSP フィールド名] がすでに存在する場合は、[作成] または [更新] の操作によりエラーが発生します。
- [Clarity 属性 ID] を *prUID* に設定した標準設定のマッピングの場合、[作成] または [更新] の操作によりエラーが発生します。
- [Clarity 属性 ID] を *prUID* に設定したマッピングの場合、更新操作で修正できるのは [MSP フィールド名] のみです。たとえば、*text3* から *text4* に *UID* のマッピングを変更できます。

第 3 章：拡張された機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[プラグイン ID の変更](#) (P. 17)

[ドキュメント](#) (P. 17)

[Microsoft Project 機能拡張](#) (P. 19)

[ポートフォリオ拡張機能](#) (P. 20)

[リソース平均配置率](#) (P. 21)

[非プロジェクト投資オブジェクト \(NPIO\) の更新](#) (P. 22)

プラグイン ID の変更

VersionOne のプラグイン ID が `remote_v1` から `pl_remote_v1` に変わりました。これは、プラグインを展開するコマンドが変更されることを意味します。

たとえば、VersionOne を展開する新しいコマンドは以下のようになります。

```
admin plugin pl_remote_v1
```

リリース 14.2 VersionOne プラグインにアップグレードすると、新しい ID 名を反映するようにインストール履歴が自動的に更新されます。

ドキュメント

インストールガイド内に VersionOne 統合ドキュメントがあります。

このリリースで更新された CA Clarity PPM ドキュメントは以下のとおりです。

- **拡張レポート** 新しい CA Clarity PPM ページとして、*[CA PPM Advanced Reporting and Database Schema Index]* が CA Support Online に追加されました。ページのリンクは、CA PPM の製品ページにある [Popular Links] の下にあります。

このページには、CA Clarity PPM、データ ウェアハウス、Jaspersoft、および PMO アクセラレータに関する技術情報のリンクが含まれます。

ページを参照するには、以下のリンクをクリックします。

[CA PPM Advanced Reporting and Database Schema Index](#)

注: リンクが示す情報を参照するにはログインする必要があります。
新しいページには以下のドキュメント リンクが含まれます。

- CA Clarity PPM データベース スキーマ

注: 以前のリリースでは、この情報は[テクニカル リファレンス ガイド]に含まれていました。現在、サポート サイトへのリンクは以前の情報の場所に含まれています。

- データ ウェアハウス データベース スキーマ

- データ ウェアハウス ERD 図

- Jaspersoft [拡張レポート] の PMO アクセラレータ

- [拡張レポート] のドメイン フィールドの説明

- PMO アクセラレータの概要ガイド

- **Studio 開発者ガイド。** カスタム オブジェクト作成の最後の手順が更新され、リスト ページへの既定のメニュー リンクを編集できるようになりました。以前のドキュメントでは、ユーザがカスタム オブジェクト リスト ページへの新しいメニュー リンクを作成することを推奨していたにすぎませんでした。列別または機能別にグループ化するグラフ ポートレット データを紹介するために、サンプル画面イメージが追加されました。
- コンテンツ パッケージの前提条件が更新され、必要な Document Management System (DMS) が追加されました。管理者として、Studio でコンテンツ パッケージ JAR ファイルを使用する前に DMS をインストールして設定します。
- **会計管理ユーザ ガイド。** 「計画に使用する会計メトリック」トピック内の式および説明のレビューと改善が行われました。
- **リソース管理ユーザ ガイド** 既定の配置率の計算が改善されました。スタッフ配置タスクの実行に関する手順に直接的な変更はありませんが、リソース マネージャはより正確な結果を得られるようになります。このガイドの「リソース平均配置率」を参照してください。
- **アクセス権の参照。** ユーザによるコンテンツの検索方法を改善するため、アクセス権はすべて「アクセス権の参照」にのみ記載されるようになりました。

Microsoft Project 機能拡張

Microsoft Project 2013 Service Pack 1 サポート

Microsoft Project 2013 Service Pack 1 は、従来のドライバではなく新しい CA Clarity PPM Microsoft Project ドライバに対してのみサポートされます。

自動ナンバリングおよびプロジェクト ID

自動ナンバリングが [プロジェクト] オブジェクトに対して設定されると、CA Clarity PPM にプロジェクトを作成および保存した場合、自動ナンバリングが適用されます。Microsoft Project 内の [プロジェクト ID] フィールドは読み取り専用になります。

固定単位タスクに対する最大 % 負荷の割り当て

Microsoft Project からプロジェクトを開くか、エクスポートする場合、
[Clarity 割り当て'最大 % 負荷' の MSP 割り当てユニット マッピング] オプションを使用すると、[最大 % 負荷] のマッピングのオンとオフを切り替えられます。このオプションを選択すると、Microsoft Project の単位が CA Clarity PPM の [最大 % 負荷] 値に基づいてマップされます。このオプションをオフにすると、Microsoft Project のプロジェクトを開いた日付のスタッフ配置率を使用してマップされます。

このオプションを設定するには、[管理] を開き、[プロジェクト管理] から、[設定] をクリックします。

CA Clarity PPM にプロジェクトを保存またはインポートする場合は、この設定に関係なく、[Clarity 割り当て'最大 % 負荷' の MSP 割り当てユニット マッピング] の値が [最大 % 負荷] に常に書き込まれます。

ポートフォリオ拡張機能

ポートフォリオ投資に対する制限

このリリース以降、ポートフォリオ内に設定できる投資数の上限がなくなりました。その結果、ポートフォリオに多くの投資を定義できるようになりました。CA Technologies は、各ポートフォリオの投資数を管理できるようにするコンテンツのパワー フィルタ基準を定義することをお勧めします。

注: ポートフォリオに設定する投資数が多いほど、[ポートフォリオ同期] ジョブの実行およびウォーターライン ビューの合計数の計算にかかる時間が長くなります。

ウォーターラインの保留中の編集

ポートフォリオの [ウォーターライン] ビューに加えた変更は、保留中の編集として保存されるようになりました。完全に保存するか、破棄するまで、この編集は一時的に保存されます。ビューから移動しても、またはセッションを閉じて、再度ログインするまで保留中の編集は保存されます。ビューに戻ると、保留中の編集を保存または破棄することもできます。

変更の破棄

これは [ウォーターライン] ビューの新しいボタンで、保留中の編集を永続的に保存しない場合、その編集を破棄できます。ビュー上に保留中の編集がある場合は、ボタンが有効になります。

ウォーターライン ビュー ナビゲーションの改善

[ウォーターライン] ビューを両方向に無限にスクロールし、投資の全リストを表示できるようになりました。投資のリストは、バッファされたビューで連続的に更新されるため、ページの区切りはありません。一度に 150 の投資がビュー上に表示されます。

ウォーターラインのドラッグ アンド ドロップの強化

[ウォーターライン] ビューの新しい場所に投資をドラッグ アンド ドロップする場合、ドロップ対象、および緑のチェック マーク アイコンで選択された行の数が、ツール ヒントに表示されます。リストの一番上または一番下にいる場合は、アイコンが、線の付いた赤色の丸に変わります。

ポートフォリオ投資の同期ジョブの変更

このリリース以降、[ポートフォリオ投資の同期] ジョブの実行中に追加されるポートフォリオ投資の数が **1,000** 以上の場合、アラートが表示されるようになりました。アラートは、タイプ別に投資数を分割し、同期を継続するかどうかを確認します。

追加されるポートフォリオ投資のしきい値 (**1,000**) を超えた場合のみ、アラートが表示されます。[今すぐ同期] ボタンでジョブを開始しても、アラートがトリガされます。

リソース平均配置率

既定のリソース配置率の計算用ビジネス ロジックが改善されました。投資の代わりに、チーム メンバの開始日と終了日を使用して、平均配置率および利用可能時間の合計を計算します。

注: この変更は、カスタム メトリックおよびその他の計算に影響を与える可能性があります。

拡張機能を説明するために、8 月 5 日から 9 月 13 日までの 6 週間のプロジェクトを作成し、3 つのリソースからなるチームを配置します。

- a. 最初のリソースの [チーム] リストで、終了日を 8 月 17 日 (2 週間、80 時間) に、[既定の配置] を 50 パーセントに変更します。配置は予定どおりの 40/80 または 50 パーセントになります。
- b. 2 つ目のリソースについては、終了日を 8 月 17 日 (2 週間、80 時間) に変更し、[既定の配置] を 50 パーセントに変更します。8 月 18 日から 30 日 (2 週間、80 時間) の間で 100 パーセントの配置のセグメントを追加します。
 - 以前のリリースでは、配置を 120 (40 + 80) と計算し、プロジェクト全体の期間のリソースに対する平均配置率を提案していました。つまり、配置率は、プロジェクト期間の合計時間である 240 (6 週間 x 40 時間 = 240) に対して 50 パーセントを適用します。
 - このリリース以降は、配置を 120 時間と計算しますが、平均配置はより正確な 75 パーセントになります。リソースに対する期間は、6 週間ではなく、ちょうど 4 週間です。合計 160 時間で 120 時間を割ると、平均配置は 75 パーセントになります。

- c. 3 つ目のリソースについては、終了日を 8 月 17 日（2 週間、80 時間）に変更し、[既定の配置] を 50 パーセントに変更します。8 月 5 日から 17 日の配置を 100 パーセントに指定してこのセグメントを調整します。
 - 以前のリリースでは、2 週間の配置を 40 時間と計算しますが、平均配置は 16.7 パーセント（40/240）となります。
 - このリリースで新しい点は、配置は同じように 40 時間と計算しますが、平均配置は 50 パーセント（40/80）になります。

非プロジェクト投資オブジェクト(NPIO)の更新

NPIO（プログラム、アプリケーション、資産、製品、およびその他の作業）に対する更新は以下のとおりです。

[アーンドバリュー合計の更新]ジョブの強化機能

[アーンドバリュー合計] ジョブの名前が、追加機能を反映するように [アーンドバリュー合計の更新] に変更されました。このジョブは、プロジェクトのアーンドバリューとコストおよび NPIO のコストを計算します。プロジェクトまたは NPIO は、[ジョブプロパティ] ページの [投資] 参照フィールドを使用して選択できます。

[投資スタッフ]ページの新しいオブジェクトアクション

新しいオブジェクトアクション [コスト合計の更新] が、すべてのプロジェクトおよび NPIO スタッフリストと詳細ページで利用できるようになりました。このオブジェクトアクションは、配置およびハード配置のコストを計算します。また、チームデータプロバイダに応じたカスタムポートレット上でこのコストを選択することもできます。さらに、スタッフのリストおよび詳細ページでは、配置コストおよびハード配置コストを表示することもできます。

タイム スライスの変更

新機能を反映するために、以下のタイム スライスの追加または名前の変更が行われました。

追加:

割り当て::ETC コスト

名前の変更:

割り当て::実コスト (以前の割り当て::実コスト カーブ)

チーム::配置コスト (以前のチーム::配置コスト 曲線)

チーム::ハード配置コスト (以前のチーム::ハード配置コスト 曲線)

付録 A: 互換性

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Clarity PPM サーバ](#) (P. 26)

[統合サーバ](#) (P. 30)

[クライアント](#) (P. 30)

[Clarity Mobile Time Manager](#) (P. 33)

[CA Clarity PPM に含まれる製品](#) (P. 34)

[変更履歴](#) (P. 34)

[FIPS オペレーティング モード制限](#) (P. 44)

[IPv6 ネットワーク互換性制限](#) (P. 45)

[CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 - \(SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7\) サポートされている設定](#) (P. 48)

[Jaspersoft 5.6.1 でサポートされる設定](#) (P. 51)

CA Clarity PPM サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM サーバソフトウェア（アプリケーションおよびバックグラウンドサーバ）を実行するサーバ用にサポートされているプラットフォームを示します。

この付録に記載された製品の一部は CA Clarity PPM に付属していないため、ユーザが購入する必要があります。CA Clarity PPM に付属しているソフトウェアの詳細については、「[CA Clarity PPM に含まれる製品 \(P. 34\)](#)」を参照してください。詳細については、使用許諾契約を参照してください。

新規インストール

	Microsoft Windows	Linux	IBM AIX
--	-------------------	-------	---------

	Microsoft Windows	Linux	IBM AIX
オペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2008 R2 SP1 64 ビット (Standard、Enterprise Edition) ■ Windows Server 2008 SP2 64 ビット (Standard、Enterprise Edition) ■ Windows Server 2012 64 ビット (Standard Edition) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Linux 5.10 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービスパック リリース²⁾ ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービスパック リリース ■ Oracle Enterprise Linux Server 6u2 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース²⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX 7.1 : TL2 : すべての保守リリース^{3)、4)} ■ AIX 6.1 : TL8 : すべての保守リリース^{3)、4)}

メモ:

- ¹⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているオペレーティングシステムのすべてのローカライズバージョンでサポートされています。
- ²⁾ Microsoft SQL Server データベースに接続している OEL 上の CA Clarity PPM は、現在サポートされていません。
- ³⁾ WebSphere および Tomcat アプリケーション サーバは CA Clarity PPM r14.2 の AIX 上でサポートされています。
- ⁴⁾ AIX に対するサポートは、今後の CA Clarity PPM リリース (暦年 2016 年の最初のリリース) で終了します。

コンポーネント

仮想化	「CA Support Statement for Virtualization」を参照してください。 CA Support Online にログインします。CA Clarity PPM 製品ページに移動します。[Popular Links] の下にある [Compatibility Information] リンクをクリックします。[CA Clarity Project and Portfolio Manager Compatibility Information] ページで [Virtualization Support information] リンクをクリックします。
データベース ²⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.3.x またはそれ以上のパッチ レベル^{5a、5b)} ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition: バージョン 11.2.0.4.x またはそれ以上のパッチ レベル^{5a、5b)} ■ Microsoft SQL Server 2008 R2 Enterprise Edition : すべての Service Pack^{5c)} ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition : すべてのサービス パック
データベース インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle および SQL Server (CA Clarity PPM 配布に含まれる) 用の CA Clarity PPM DataDirect Type 5 (v5.1.1) ドライバ。
Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 67 (64 ビット) またはそれ以上のパッチ レベル⁶⁾ ■ IBM Java 7 (64 ビット) : 7.0.0.100 (SR5) またはそれ以上のパッチ レベル⁶⁾
アプリケーション サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache Tomcat 7.0.55 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) ■ IBM WebSphere Application Server v8.5.5^{7a)}
レポート サーバ	CA Business Intelligence™ リリース 3.3 SP2 (BOXI 3.1 Service Pack 7) 。詳細については、 CA Business Intelligence リリース 3.3 (P. 48) を参照してください。 ⁸⁾ Jasper Reports Server 5.6.1 ^{9、10、11)}
メール サーバ	すべての SMTP/IMAPI/POP3 メール サーバを使用できます。CA Clarity PPM は、いかなるベンダーも明示的にはサポートしていません。

メモ:

- ⁵⁾ データベースはベンダーにサポートされるすべてのオペレーティングシステム上で実行できます。Oracle SPARC T-Series サーバはサポートされていません。実稼働データベースはソフトウェアに仮想化されたオペレーティングシステムでサポートされていません。この例には、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、および Citrix XenServer が含まれます。AIX LPARS、HP-UX VPARS、および Solaris コンテナはこのカテゴリに分類されず、引き続きサポートされます。また、パフォーマンスや並行処理のテストのためのダウンストリーム環境が、実稼働で使用されるものと一致することを推奨します。
- ^{a)} Oracle Real Application Cluster (RAC) はサポートされています。
- ^{b)} ここで、(x) はサポートされるパッチレベルを表しますたとえば、11.2.0.5 は新しいリリースで、本質的にサポートされていません。
- ^{c)} SQL Server の名前付きインスタンスはサポートされています。SQL Server クラスタリングは、失敗したバックグラウンドプロセスの再起動にデータベースが失敗した後で、手動での介入によってサポートされます。
- ^{d)} 5000 人のユーザを超えて展開する Microsoft SQL Server 展開は、CA Technologies によって承認される必要があります。承認されない場合は、Microsoft SQL Server に関連する拡張性の制限、および CA Clarity PPM のような OLTP (オンライン トランザクション処理) 製品の処理方法により、Oracle が要件となります。
- ⁶⁾ 最新のパッチレベルを実行することをお勧めします。
- ⁷⁾ CA Clarity PPM は、サポートされているアプリケーションサーバのすべてのローカライズバージョンでサポートされています。
- ^{a)} WebSphere は AIX OS でのみサポートされています。WebSphere に対するサポートは、暦年 2016 年の CA Clarity PPM の最初のリリースで終了します。

- ⁸⁾ CA Business Intelligence r3.3 (BOXI 3.1 Service Pack 7) は既存のユーザに限りサポートされます。CA Business Intelligence r3.3 に対するサポートは、暦年 2016 年の CA Clarity PPM の最初のリリースで終了します。
- ⁹⁾ CA Clarity PPM は Jaspersoft フラッシュ チャートをサポートしていません。
- ¹⁰⁾ Jaspersoft は Tomcat アプリケーション サーバ上でのみサポートされています。
- ¹¹⁾ Jaspersoft Enterprise 5.6.1 には OLAP Server が含まれますが、CA Clarity PPM r14.2 は OLAP Server をサポートしません。

統合サーバ

以下の表に、CA Clarity PPM と統合しているサーバ用にサポートされるソフトウェアを示します。

シングルサインオンサーバ	CA SiteMinder 12.0 SP3 および CA SiteMinder 12.51 CR1
LDAP Server	すべての LDAP v3 準拠ディレクトリ サーバ (CA Directory、Microsoft Active Directory、Novell eDirectory、Oracle Directory Server、Sun One Directory など) をサポートします。
Microsoft Project サーバ	MS SharePoint Server 2010 SP2、2013 (64 ビット)、Enterprise Edition ¹²⁾

メモ:

- ¹²⁾ CA Clarity PPM SharePoint 2010 Connector バージョン 2.3。

クライアント

以下の表に、CA Clarity PPM にアクセスするクライアント コンピュータ用にサポートされているソフトウェアを示します。

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
--	-------------------	--------------	---------------

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows XP Professional : SP 3 以上 ■ Microsoft Windows 7 SP1 32 ビットおよび 64 ビット、全エディション ■ Microsoft Windows 8.1、32 ビットおよび 64 ビット 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Mac OS X: リリース 10.9.1 またはそれ以上のパッチ レベル 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「Web ブラウザ」セクションにリストされているブラウザをサポートするすべてのベンダーまたはバージョン。
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Internet Explorer 10.0 および 11.0 ならびにそれ以上のパッチ レベル (Microsoft Windows 7 および 8.1) ■ Microsoft Internet Explorer 9.0 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Microsoft Internet Explorer 8.0 およびそれ以上のパッチ レベル³⁾ ■ Firefox 30.0 およびそれ以上のリリース²⁾ ■ Firefox ESR 24.2.0 およびそれ以上のパッチ レベル²⁾ ■ Google Chrome 35 またはそれ以上のリリース²⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Safari 7.0 およびそれ以上のパッチ レベル ■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース²⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 30 およびそれ以上のリリース²⁾

	Microsoft Windows	Apple Mac OS	Desktop Linux
クライアントアプリケーション ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Excel 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション ■ Microsoft Project 2010 SP2、2013、および 2013 SP1 32 ビットおよび 64 ビット：全エディション⁸⁾ ■ Java 7 Runtime Environment: 1.7 update 45 またはそれ以上のアップデート レベル⁴⁾ ■ Adobe Flash Player 11.9 またはそれ以上⁵⁾ ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ CA Open Workbench 2.1.2 ■ Crystal Reports 2013 Designer Client SP5⁷⁾ ■ Jaspersoft Studio 5.6.1 Designer client⁷⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Office Excel 2011 ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上⁵⁾ ■ Mac OS Preview PDF ビューア⁶⁾ ■ <i>Microsoft Project</i> へのサポートなし ■ <i>CA Open Workbench</i> へのサポートなし ■ <i>Crystal Reports Designer</i> へのサポートなし 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Adobe Acrobat Reader 7.0 またはそれ以上⁶⁾ ■ Adobe Flash Player 11 またはそれ以上⁵⁾ ■ <i>Excel</i> エクスポートへのサポートなし ■ <i>Microsoft Project</i> へのサポートなし ■ <i>CA Open Workbench</i> へのサポートなし ■ <i>Crystal Reports Designer</i> へのサポートなし
サードパーティ SOAP 統合ツールキット	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Visual Studio 2013 (.NET Framework 4.5.1) ■ Apache AXIS 1.6 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.6 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache AXIS 1.6

メモ:

- ¹⁾ 複数バージョンのサードパーティ ソフトウェアの同時使用は、非同期および互換性の問題を引き起こす可能性があるため、サポートされていません。CA Technologies は、ベンダーがサポートするサードパーティ ソフトウェアのバージョンのみをサポートします。

- ²⁾ Firefox および Chrome の新しいリリースは、リリース後の最小限のテストだけでサポートされている場合があります。Google Chrome バージョン 29 および 30 には CA Clarity PPM での既知の問題があるため、バージョン 32 またはそれ以上を使用することを推奨します。
- ³⁾ IE 8.0 およびそれ以上のパッチ レベルのサポートは、CA Clarity PPM r14.2 後のリリースで終了します。
- ⁴⁾ Open Workbench、CA Clarity PPM Microsoft Project インターフェース、および XOG クライアントに必要。
- ⁵⁾ Xcelsius ダッシュボード表示用。
- ⁶⁾ CA Clarity PPM インストール ガイド、技術マニュアル、ユーザ ガイド、およびオフライン レポートを読むために必要です。
- ⁷⁾ カスタム レポート開発にのみ必要。
- ⁸⁾ Microsoft Project 2013 Service Pack 1 は、新しい CA Clarity PPM Microsoft Project ドライバでのみサポートされる予定です。

Clarity Mobile Time Manager

以下の表に、Clarity Mobile Time Manager アプリケーションに対してサポートされているモバイルオペレーティングシステムプラットフォームを示します。

	iOS	Android
モバイルオペレーティングシステム	■ Apple iOS 7.0 またはそれ以上	■ Google Android OS 4.0 またはそれ以上

CA Clarity PPM に含まれる製品

以下の表に、CA Clarity PPM に付属するライセンスされたサードパーティソフトウェアを示します。以下のソフトウェアは、すべて CA Clarity PPM のインストールメディアに含まれています。

コンポーネント	メモ
Java Runtime	サポートされているすべてのオペレーティングシステム用の JDK インストーラ。
アプリケーションサーバ	サポートされているすべてのオペレーティングシステム用 Apache Tomcat。
レポートサーバ	Jasper Reports Server 5.6.1

メモ:

- IBM WebSphere は、CA Clarity PPM には付属していません。Tomcat 上でこのサーバを使用するには、CA Clarity PPM からは独立したライセンスを購入する必要があります。

変更履歴

CA Clarity PPM リリース 14.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 67 (64 ビット) のサポートを更新しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache Tomcat 7.0.55 のサポートを更新しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Jaspersoft 5.6.1 のサポートを追加しました。 ■ 新規ユーザへの CA Business Intelligence r3.3 SP2 (BOXI 3.1 SP 7) のサポートはありません。
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい Microsoft Project ドライバに対してのみ Microsoft Project 2013 SP1 のサポートを追加しました。

CA Clarity PPM リリース 14.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2012 64 ビット (Standard) のサポートを追加しました ■ Red Hat Enterprise Linux 5.10 64 ビットのサポート (リリース 5.5 ~ 5.10 のサポート) を追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 のサポート (リリース 6.0 ~ 6.4 のサポート) を追加しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 64 ビットのサポートを追加しました。 ■ Windows 8.1 のサポートを追加しました ■ Solaris のサポートを終了しました ■ HP UX のサポートを終了しました ■ Mac OS X、リリース 10.9.1 のサポートを更新しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 55 (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK 7 (64 ビット) : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベルのサポートを終了しました。
含まれる製品	<ul style="list-style-type: none"> ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 を追加しました ■ Xcelsius 2008、SP6、Fix Pack 3 を更新しました
モバイル オペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6 のサポートを終了しました
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2.0.2 Standard Edition および Enterprise Edition のサポートを追加しました。 ■ Oracle 11.2 Standard Edition および Enterprise Edition、バージョン 11.2.0.4x またはそれ以上のパッチ レベルのサポートを追加しました ■ MS SQL Server 2008 をサポートしていません。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache Tomcat 7.0.50 のサポートを更新しました。 ■ Oracle Weblogic Server 12.1.1 のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence r3.3 SP2 (BOXI 3.1 SP7) のサポートを更新しました。
クライアントブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox、Chrome および Safari ブラウザの新リリースのサポートを更新しました。

コンポーネント	説明
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Excel 2007 および Microsoft PowerPoint 2007 のサポートを終了しました。
統合サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA SiteMinder 12.5 cr01 のサポートを追加しました。

CA Clarity PPM リリース 13.3.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2008 SP2 64 ビット (Standard、Enterprise) のサポートを追加しました ■ Red Hat Enterprise Linux 5.95 64 ビットのサポート、つまりリリース 5.5 ～ 5.9 のサポートを追加しました ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 のサポート、つまりリリース 6.0 ～ 6.4 のサポートを追加しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP2 64 ビットのサポートを追加しました。 ■ Oracle Enterprise Linux Server 6.46u2 64 ビット、つまりリリース 6.2 ～ 6.4 のサポートを追加しました ■ AIX 6.1、TL82 のサポートを追加しました。 ■ AIX 7.1、TL20 のサポートを追加しました。 ■ Mac OS X、リリース 10.8.4 のサポートを追加しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7 update 25 (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM Java バージョンを 7.0.0.100 (SR5) に更新しました。
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6.1.4 および iOS 7 のサポートを追加しました。 ■ Google Android OS 4.2.2 (Jelly Bean) のサポートを追加しました。
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変更はありません。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache Tomcat 7.0.33 のサポートを終了しました。 ■ Apache Tomcat 7.0.40 のサポートを追加しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 8.5.5 のサポートを追加しました。

コンポーネント	説明
レポート サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence r3.3 のサポートを終了しました ■ CA Business Intelligence r3.3 SP1 (BOXI 3.1 SP6) のサポートを追加しました。
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows 用の Firefox 19.0.2 22 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows 用の Google Chrome 31.x.x.x のサポートを追加しました。また、バージョン 29、30、および 31 での既知の問題に関する脚注を追加しました。 ■ Apple Mac OS 用の Safari 6.0.52 のサポートを追加しました。 ■ Adobe Flash Player バージョン 11 のサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Project 2007 のサポートを終了しました。 ■ CA Open Workbench 2.1.1 のサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変更はありません。
統合サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ SharePoint Server 2013 のサポートを追加しました。 ■ SharePoint Connector 2.0.3 を追加しました。 ■ 脚注「CA SiteMinder 12.0 SP3 が認定されました。さらに、SiteMinder 12.51 CR1 がサポートされました。」を追加しました。

CA Clarity PPM リリース 13.2.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows XP : SP3 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows XP : SP2 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows 8、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 (R2 以外) のサポートを終了しました。 ■ Mac OS X 10.8.2 のサポートを追加しました。 ■ Mac OS X 10.4 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Enterprise Linux 6u2 のサポートを追加しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Java JDK 1.7 update 21 およびそれ以上のサポートを追加しました。
モバイルオペレーティングシステム ¹⁾	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple iOS 6.0 およびそれ以上のサポートを追加しました。 ■ Google Android 4.0 (Ice Cream Sandwich) およびそれ以上のサポートを追加しました。
データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2.0.3 Standard Edition および Enterprise Edition のサポートを追加しました。 ■ Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition のサポートを追加しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.33 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変更はありません。

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 19.0.2 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 17.0.4 のサポートを追加しました。 ■ Firefox ESR 10.0.5 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Internet Explorer 10 (Windows 8 のみ) のサポートを追加しました。 ■ Chrome 25.0.1364.172m のサポートを追加しました。 ■ Apple Safari 6.0.2 (Mac OSX 10.8.2 またはそれ以上で使用) のサポートを追加しました。
クライアント アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 6 のサポートを追加しました。 ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Project 2010-2013 32 ビットおよび 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Excel 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft PowerPoint 2010-2013 64 ビット: すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.1 のサポートを追加しました。 ■ CA Open Workbench 2.0 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。 ■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。
統合サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Sharepoint コネクタ 2.0.2 のサポートを追加しました。

メモ:

- ¹⁾ このサポートの対象は Clarity Mobile Time Management アプリケーションのみです。

CA Clarity PPM リリース 13.1.00 での変更点

コンポーネント	説明
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ OEL Server 6u2 のサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 5.5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを追加しました。 ■ Red Hat Enterprise Linux 5 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 のサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット) Standard Edition または Enterprise Edition のサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Server 2003 64 ビット Standard Edition または Enterprise Edition (Service Pack 2 まで) のサポートを終了しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 Service Pack 4 64 ビット (x86 チップセット) のサポートを追加しました。 ■ SUSE Linux Enterprise Server 10 64 ビット (x86 チップセット) : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Windows Server 2008、SP2 のサポートを追加しました。 ■ AIX 7.1 : すべての保守リリースのサポートを追加しました。 ■ AIX 5.3 : すべての保守リリースのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows Vista Service Pack 2 : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows Vista : すべてのエディションのサポートを終了しました。 ■ Microsoft Windows 7 Service Pack 1、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを追加しました。 ■ Microsoft Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット : すべてのエディションのサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Java SE JDK 1.7.0_4 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK v7 : 7.0.01 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ HP JDK 6 : 6.0.05 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM Java 7.0.0 64 ビット : SR10 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM Java 6 64 ビット : SR6 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ Sun J2SDK 1.6.0 : バージョン 1.6.0_20 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを終了しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.26 またはそれ以上のパッチ レベル (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.35 のサポートを終了しました。 ■ Oracle Weblogic Server 12.1.1 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ Oracle WebLogic Server 10.3 : すべてのサービス パック (64 ビット) のサポートを終了しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 8.5 (64 ビット) のサポートを追加しました。 ■ IBM WebSphere Application Server 7.0.0.7 (64 ビット) のサポートを終了しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence リリース 3.3 (BOXI 3.1 Service Pack 5) のサポートを追加しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.2 (BOXI 3.1 Service Pack 3) のサポートを終了しました。

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<p>注: CA Technologies では、関連するサードパーティ ベンダーによってサポートされているブラウザのバージョンのみをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox ESR 10.0.5 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 13.0 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Chrome 18.0.1.25.152m 以上のリリース レベルのサポートを追加しました。
クライアント アプリケー ション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Xcelsius Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 5 のサポートを追加しました。 ■ Crystal Reports Designer 2008 Service Pack 3 のサポートを終了しました。
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアによって仮想化されたオペレーティング システムでのデータベース実行のサポートを明確化しました。 ■ Oracle 10.2.0.5 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM サービス パック 13.0.01 での変更点

コンポーネント	説明
クライアント ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 10.0 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 8.0 のサポートを終了しました。 ■ Firefox 3.6 のサポートを追加しました。 ■ Firefox 3.5 のサポートを終了しました。
アプリケー ションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0.35 のサポートを追加しました。 ■ Tomcat 6.0.26 のサポートを終了しました。

CA Clarity PPM バージョン 13.0.00 での変更点

コンポーネント	説明
サーバオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Technologies は、Solaris および HP-UX での既存のインストールに対してアップグレードを実施する顧客にのみサポートを提供します。 ■ SUSE Enterprise Linux 11 のサポートを追加しました。 ■ RHEL 6.0 のサポートを追加しました。 ■ 32 ビット オペレーティング システムを中止しました。
サーバ DB	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft SQL Server 2008 R2 を追加しました。 ■ Microsoft SQL Server 2005 のサポートを中止しました。
サーバ Java Runtime	<ul style="list-style-type: none"> ■ 32 ビットのサポートを中止しました。
アプリケーションサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 32 ビットのサポートを中止しました。
レポートサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CA Business Intelligence リリース 3.2 のサポートを追加しました。 ■ Actuate のサポートを終了しました。 ■ CA Business Intelligence リリース 3.0 のサポートを終了しました。
クライアントブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firefox 8.0 のサポートを追加しました。 ■ Safari 5.1.1 のサポートを追加しました。 ■ IE 9.0 のサポートを追加しました。 ■ IE6 および IE7 のサポートを中止しました。
クライアントアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Project 2000、2002 および 2003 のサポートを中止しました。 ■ Crystal Reports デザイナ 2008 のサポートを、SP3 またはそれ以上（サービスパックではなく）と定義しました。
SharePoint Server	<ul style="list-style-type: none"> ■ SharePoint Server 2010 のサポートを追加しました。 ■ SharePoint Server 2007 のサポートを中止しました。

FIPS オペレーティング モード制限

すべての CA Clarity PPM プラットフォームが、FIPS 140-2 認定用に RSA BSAFE Crypto-J をサポートするとは限りません。以下の表に、RSA によって文書化された互換性のあるプラットフォームおよびオペレーティングシステムを示します。ほかのプラットフォームが正しく機能する場合がありますが、CA Technologies はここにリスト表示されているプラットフォーム以外での Crypto-J のサポートを確認できません。

プラットフォーム	オペレーティング システム	ビット数	リリース
Microsoft Windows	2008 R2 Server	64	Oracle JDK 1.7 update 55
Red Hat Linux	Advanced Server 6.0	64	Oracle JDK 1.7 update 55
IBM AIX	AIX 6.1	64	IBM Java 7 (64 ビット)

メモ:

- <JAVA_HOME>/jre/lib/security 以下の java.security ファイルに、すべてのセキュリティ プロバイダがその優先順位と共にリスト表示されます。CA Clarity PPM は、自動的にプロバイダ リストで Crypto-J プロバイダを SunJCE プロバイダの位置より上に配置します。CA Clarity PPM で Crypto-J プロバイダを使用するには、次のように明示的に、最初のインデックス位置のセキュリティ プロバイダ エントリを設定する必要があります: security.provider.1=com.sun.crypto.provider.SunJCE。これに応じて、他の位置のインデックス番号を調整する必要があります。SunJCE セキュリティ プロバイダが最初のセキュリティ プロバイダであることを確認します。
- AIX で IBM FIPS プロバイダを使用している場合は、上記で述べた変更を加える必要はありません。AIX は、FIPS モード用に IBM FIPS プロバイダを使用しています。

IPv6 ネットワーク互換性制限

CA Clarity PPM は、IPv6 ネットワーキング環境での動作を制限付きで認定されています。IPv6 を使用する CA Clarity PPM のその他の設定は動作しますが、認定されていません。IPv6/IPv4 混合環境では、サーバインスタンスは IPv6 および IPv4 のそれぞれに対して設定された、2 つのネットワークインターフェースカードを使用すると想定されています。

Microsoft Windows 設定での Clarity インストール

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	ステータス
1	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	IPv6 ミックスモードおよび純正モードでサポートされています。
2	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	純正 IPv6 およびミックスモードでサポートされています。

Microsoft Windows 設定でのメール サーバ

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	メールサーバ	ステータス
3	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	MIRAK ⁵⁾ 10.3.1	純正 IPv6 およびミックスモードでサポートされています。

Microsoft Windows 設定での Business Objects Testing CABI 3.3 SP2

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	BO	ステータス
4	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	CABI 3.3 SP2	IPv6 ミックスモードおよび純正モードでサポートされています。
5	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	CABI 3.3 SP2	純正 IPv6 およびミックスモードでサポートされています。

Microsoft Windows 設定での v12.1.1 から v13.3 へのアップグレード

設定	アプリケーションサーバ	アプリケーションサーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	ステータス
6	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	MSSQL 2008 R2	Windows 2008 R2	ミックスモードでサポートされています。
7	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	Windows 2008 R2	ミックスモードでサポートされています。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA
Clarity PPM 設定でのインストール**

設定	アプリケーション サーバ	アプリケーション サーバ用 OS	データベー ス	データベース用 OS	ステータス
8	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	純正 IPv6 およ びミックス モードでサ ポートされて います。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA
Clarity PPM 設定でのメール サーバ**

設定	アプリケー ション サーバ	アプリケー ション サーバ 用 OS	データ ベース	データベース 用 OS	メール サー バ	ステータス
9	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	MIRAK 10.3.1 ¹⁾	ミックス モードでサ ポートされ ています。

注: ¹⁾ MIRAK はテスト目的で使用するオープン ソース メール サーバです。

**アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA
Clarity PPM 設定での Business Objects Testing CA BI 3.3 SP2**

設定	アプリケー ション サー バ	アプリケー ション サー バ用 OS	データベー ス	データベース用 OS	BO	ステータス
10	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows Server 2008 R2 SP1	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	CA BI 3.3 SP2	ミックス モードでサ ポートされ ています。

アプリケーションおよびデータベース用の異なる OS によるハイブリッド CA Clarity PPM 設定での v12.1.1 から v13.3 へのアップグレード

設定	アプリケーション サーバ	アプリケーション サーバ用 OS	データベース	データベース用 OS	ステータス
11	Apache Tomcat 7.0.52 (64 ビット)	Windows 2008 R2	Oracle Enterprise Edition 11.2.0.3	RH6	ミックス モードでサポートされています。

CA Business Intelligence リリース 3.3 SP2 - (SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 Service Pack 7) サポートされている設定

以下の Business Objects 設定は CA Clarity PPM 用にサポートされています。CABI Business Intelligence (CABI) リリース 3.3 SP 2 の最小ハードウェア要件などの追加情報は、CABI ドキュメントに記載されています。仮想化サポートの詳細については、次の SAP ドキュメントを参照してください：

「*Business Objects Support Statement – VMWare ESX Server*」。

以下の表にリストされているアプリケーションサーバは、CA Clarity PPM との統合において CABI 3.3 (BOXI リリース 3.1 SP7) に対してテストされた最小限のリリースを示します。以降のリリース (名前に含まれる最後の数字で示される) はサポートされますが、CA Clarity PPM との統合において必ずしもテストされるとは限りません。アプリケーションサーバ JDK も同様です。

注: 以下の表にリスト表示されたアプリケーションサーバのネットワーク エディションがある場合、それらのネットワーク エディションはサポートされません。特に指定がない限り、アプリケーションサーバ (JDK を基礎とする) の 32 ビットバージョンのみを使用できます。

CABI リリース 3.3 SP2 の実行に対しては、UNIX または Linux のオペレーティングシステムを使用した CA Clarity PPM システム上でのテスト、および SQL Server での設定が行われていません。そのような場合、別の Windows サーバ上で CABI リリース 3.3 SP2 を実行することを推奨します。

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーション サーバ/JDK	CMS および監査データベース プロバイダ/データコネクタ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2012 R2 ■ Windows Server 2008 SP2 Standard Edition または Enterprise Edition (32 ビットおよび 64 ビット) ^{1)、2)} ■ Windows Server 2008 R2 64 ビット ^{1)、2)} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.7.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MS SQL Server 2008/ODBC SQL Native Client 10、MS SQL Server 2008 JDBC (Sqljdbc.jar 3.0)、OLE DB SQL (Native Client) 10 ■ MS SQL Server/Microsoft JDBC 1.2 for SQL Server 2005、Microsoft ODBC SNAC (Native Client)、Microsoft OLEDB SNAC (Native Client) ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアント インストーラを使用)。
Linux	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Server 5 (64 ビット) ³⁾ ■ Red Hat Enterprise Server 6 (64 ビット) ⁴⁾ ■ SUSE Enterprise Linux 10 Service Pack 2 (64 ビット) ■ SUSE Enterprise Linux 11 (64 ビット) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供)、JDK 1.7.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2)、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアント インストーラを使用)。
Solaris	<ul style="list-style-type: none"> ■ Solaris 10 (64 ビット SPARC) ⁵⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.7.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2)、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアント インストーラを使用)

オペレーティングシステム	サーババージョン	CABI 3.3 アプリケーション サーバ/JDK	CMS および監査データベース プロバイダ/データコネクタ
AIX	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX 6.1 (64 ビット)⁶⁾ ■ AIX 7.1 (64 ビット)⁷⁾ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 6.0 (OEM 提供) /JDK 1.7.0_xx 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11g R2/Oracle Net Client 11g R2 (11.2)、Oracle JDBC 11g R2 (32 ビット Oracle クライアント インストーラを使用)。
HP-UX	サポートされません。		

メモ:

- ¹⁾ Business Objects は、リスト表示されているオペレーティングシステム用のすべての Microsoft クリティカル パッチのインストールをサポートおよび推奨します。
- ²⁾ Query as a Webservice (QaaWs) を利用する場合は、.NET Framework 2.0 が必要です。
- ³⁾ Red Hat Enterprise Server 5 用の最小パッチ レベル：最小のオペレーティングシステムのインストールと RHBA-2007：0619-3 が必要です
- ⁴⁾ RHEL 6 の最小パッチ要件：compat-libstdc++-33-3.2.3-69.el6.i686 (GCC 3.3.4 互換標準 C++ ライブラリ)、glibc-2.12-1 (RedHat アドバイザリ RHBA-2007:0619-3)、libXext.i386、libncurses.so.5
- ⁵⁾ Solaris 10 の最小パッチ要件：SUNWgzip、SUNWzlib、SUNWscpu、SUNWbash、SUNWbcp、SUNWxcu4 XCU4 Utilities、SUNWxwft、SUNWxwplt、SUNWlibC、SUNWeu8os - American English/UTF-8 L10N For OS Environment User Files、SUNWeuluf - UTF-8 L10N For Language Environment User Files、SUNWuiu8 - Iconv modules for UTF-8 Locale、SUNWulcf - UTF-8 Locale Environment Common Files、SUNWmfrun、SUNWxwice。
- ⁶⁾ AIX 6.1 の最小パッチ要件：Technology Level 2 SP1、AIX 用 IBM C++ ランタイム環境コンポーネント => xlc.aix61.rte:10.1.0.0。
- ⁷⁾ AIX 7.1 の最小パッチ要件：Technology Level 7.1.0.0 / 7100-00-00-0000、IBM C++ Runtime Environment Components for AIX => xlc.aix61.rte:11.1.0.1。

Jaspersoft 5.6.1 でサポートされる設定

Jaspersoft と統合された CA Clarity PPM は、以下の表に記載された設定のみをサポートし、Jaspersoft でサポートするその他の設定はサポートしません。

以下の表に、Jaspersoft 5.6.1 でサポートする設定を示します。

オペレーティングシステム	サーババージョン	アプリケーション Server/JDK	データベース
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows Server 2008 R2 (64 ビット) ■ Windows Server 2012 R2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.55、JDK 1.7.0_67 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft SQL Server 2012 ■ Oracle 11.2.0.3 以降
Linux	<ul style="list-style-type: none"> ■ Red Hat Enterprise Server 5.5 以降 (64 ビット) ■ Red Hat Enterprise Linux 6.4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しい更新リリース ■ SUSE Enterprise Linux 10 Service Pack 4 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービス パック リリース ■ SUSE Linux Enterprise Server 11 Service Pack 3 64 ビット (x86 チップセット) : すべての新しいサービス パック リリース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tomcat 7.0.55、JDK 1.7.0_67 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 11.2.0.3 以降

付録 B: アクセシビリティ機能

CA Technologies は、すべてのお客様が弊社の製品およびサポート ドキュメントを正しく使用してビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。アクセシビリティ モードを有効にすると、支援を必要とするユーザ向けに、ユーザ インターフェースのコントラストを最適化し、スクリーンリーダーをアシストします。

CA Clarity PPM のアクセシビリティ機能は、Mozilla Firefox 13 ブラウザおよび Job Access With Speech (JAWS) スクリーンリーダーと一緒に使用したときに最高の機能を発揮します。

CA Clarity PPM は、以下の領域において Windows ベースおよび Macintosh ベースの環境からアクセシビリティ拡張機能を継承します。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注: 以下のトピックの情報は、Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホストオペレーティングシステムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジーがあります。これらの既存の支援テクノロジーで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジー自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブオペレーティングシステムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Oracle では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[マウス](#) (P. 54)

[キーボード](#) (P. 54)

[音声](#) (P. 55)

[ユーザのアクセシビリティの設定](#) (P. 56)

[キーボードショートカット](#) (P. 57)

[表示](#) (P. 60)

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウス ボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウス ボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下の操作を実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログ ボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

スティッキー キー

片手または 1 本の指で入力するユーザは、別のキーボード レイアウトを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータ サウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

音量

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

警告

警告を視覚的に表示します。

通知

アクセシビリティ機能が有効または無効になったときに、聴覚的または視覚的な合図を送ります。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

ユーザのアクセシビリティの設定

ユーザのアクセシビリティを設定するには、以下の手順に従ってください。

以下の手順に従います。

1. [管理] を開き、[組織とアクセス] から [リソース] をクリックします。
2. リソースの名前をクリックします。
[プロパティ] ページが表示されます。
3. 適切な [アクセシビリティ] チェック ボックスをオンにします。

スクリーンリーダー最適化 UI

スクリーンリーダーがよりよく機能を認識できるように、ユーザインターフェースが最適化されるかどうかを決定します。スクリーンリーダーを使用している視覚障害のあるすべてのユーザのために、このチェック ボックスをオンにします。

既定値： オフ

ハイコントラストの色モード

色覚障害のあるユーザを補助する特別な UI テーマを使用するかどうかを決定します。選択すると、ユーザにはハイ コントラストの UI テーマが表示されます。

既定値： オフ

4. 変更を保存します。
5. (オプション) [スクリーンリーダー最適化 UI] を選択した場合は、スクリーンリーダー ソフトウェアがコンピュータ上で実行されていることを確認してください。
6. ユーザが CA Clarity PPM にログインすると、一旦ログアウトしてログインし直すよう指示されます。

キーボード ショートカット

以下の表では、すべての CA Clarity PPM ページで利用可能な基本機能のキーボードショートカットについて説明します。

フィーチャー	キーの組み合わせ
ホーム メニュー	Ctrl+Alt+h
管理メニュー	Ctrl+Alt+a
お気に入りメニュー	Ctrl+Alt+f
戻る	Ctrl+Alt+b または Alt+ 左方向キー
ホーム ページ	Ctrl+Alt+Home
更新	Ctrl+Alt+F5
検索	Ctrl+Alt+s
履歴	Ctrl+Alt+v
ヘルプ	F1

CA Clarity キーボード ショートカット(アクション)

以下の表では、CA Clarity PPM ページ上のアクションのキーボードショートカットについて説明します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
フィールドエディタの有効化 (たとえば日付ピッカー等)	Enter	Alt+Enter
ポップアップを閉じる	Esc	Shift+Esc
タブ メニューを開く	Enter	Alt+Enter
メニューで左、右、上、または下に移動	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー	Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー Alt+ 上方向キー Alt+ 下方向キー

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
ハイライトされたメニュー アイテムの選択	Enter	Alt+Enter
リスト ページのリンクを開く	Ctrl+Enter	
チェック ボックスのオン/オフ 注: チェック ボックスにフォーカスがある必要があります。	スペース キー	
階層リストの展開 注: 階層リストの + にフォーカスがある必要があります。	スペース キー	

CA Clarity キーボード ショートカット(リスト)

以下の表では、リストのキーボード ショートカットについて説明します。

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
リスト内の編集と表示モード間の切り替え	表示、編集	Enter
リスト (グリッド) 内のセルからセルへの移動	表示	左方向キー 右方向キー 上方向キー 下方向キー
リスト内の別のエリアへの移動: ポートレットアイコン、列ヘッダ、リストの本文、ボタン	表示	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
表示モードへの切り替え	編集	Esc または Enter
セル内での左または右への移動	編集	左方向キー 右方向キー
編集可能なセルから編集可能なセルへの移動	編集	Tab (転送) Shift+Tab (戻る)
行の最後に移動 注: TSV 行でのアクションの場合は、キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	編集	Ctrl+ 右方向キー

アクション	モード	キーボードの組み合わせ
行の先頭に移動	編集	Ctrl+ 左方向キー
ページを上または下に移動	表示、編集	Ctrl+Alt+ 上方向キー Ctrl+Alt+ 下方向キー
リストの一番上または一番下に移動 注: TSV セル内のアクションの場合は、 キーボードの組み合わせを繰り返して TSV セクションから移動してください。	表示、編集	Ctrl+ 上方向キー Ctrl+ 下方向キー
ドロップダウン リストまたは日付セクタを開く	編集	Enter
ドロップダウン内の選択項目を移動	編集	上方向キー 下方向キー
ドロップダウンまたは日付セクタ内の のハイライトされた値の選択	編集	Enter
日付セクタ内の日付のハイライト	編集	下方向キー
長いテキスト エリアでの新しいライン の追加	編集	Ctrl+Enter

期間単位値セルのキーボード ショートカット

以下の表に、リスト内の期間単位値セルのキーボード ショートカットを示します。

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
TSV 行の選択	Shift+Ctrl+ 右方向キー	
TSV 列の選択	Shift+Ctrl+ 下方向キー	
現在のセルの左または右の単一セルの選択	Shift+ 右方向キー Shift+ 左方向キー	
現在のセルの上または下の単一行の選択	Shift+ 上方向キー Shift+ 下方向キー	
TSV セルのコピー	Ctrl+c	
TSV セルの貼り付け	Ctrl+v	

アクション	キーの組み合わせ	代替アクセシビリティ キーの組み合わせ
TSV セルの切り取り	Ctrl+x	
切り取り、コピー、または貼り付け 操作の取り消し	Ctrl+z	
Excel から TSV セルへのコピー	Ctrl+c および Ctrl+v	

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォントスタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

付録 C: サードパーティ ソフトウェアに関する通知

CA Clarity PPM で使用するサードパーティ製ユーティリティおよびソフトウェアのライセンス情報は、マニュアル選択メニューの [TXT の表示] リンクをクリックして、入手できます。